

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型児童通所支援 ミックスベリー-ONODA

公表日 令和7年 2月 28日

利用児童数 2 回収数 2

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1	0	0		設置基準は満たしているものの指導訓練室などが手狭なため、その日の利用状況や活動に合わせて物品の移動、パーテーションを活用し可能な限り広いスペースを確保できるようにしております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		児童10人に対して児童指導員2人という基準人数に加えて加算要件を満たす人員配置をしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		お子さまが利用する場所についてはバリアフリーの構造になっております。トイレには動作補助のため、手すりを設置しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	0		今後も毎日の清掃・消毒を行い清潔を保てるよう努めてまいります。また、活動に合わせて物品を移動させ可能な限り過ごしやすい空間を確保できるよう工夫いたします。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	1	0	0		カンファレンス時や日々の送迎時に保護者様から普段の様子を伺い理解できるよう努めております。また、今後も療育研修などお子さまの支援に関する研修を行い職員の自己研鑽の機会を設け専門性のある支援が行えるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		支援プログラムの作成・公表を予定しております。今後は、支援プログラムに沿った活動を実施し、年度末に振り返りを行い、より良い支援に改善していけるよう努めてまいります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		カンファレンスで保護者様からの意見をいただき、お子さまの様子を見ていく中で一人ひとりのお子さまのことを理解できるよう努めております。また、日々の様子から職員間で支援方法を検討し個別支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		今後も必要な項目を組み込み、支援内容を設定してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		個別支援計画に沿った支援となるよう努めております。今後は計画に沿った支援を提供してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0		療育活動は定期的に評価を行い、一人ひとりにあった目標や課題を設定する事を継続して行っております。また、成長に合わせてステップアップできるよう、多数の課題を準備しております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	0	1		レクリエーションで公園に遊びに行った際に地域のお子さまの中で遊ぶ、公共交通機関に乗車し地域の方と関わるなどの機会を設けております。今後、保育所や幼稚園などの連携及び地域での活動の機会を増やしていけるよう検討してまいります。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	1	1	0		お子さまの行動に関する悩みや不安に対して助言が出来るように努めておりますが、ペアレント・トレーニングの実施はできておりません。今後必要に応じて検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	2	0	0	0		今後も連絡帳や送迎時にその日の様子などをお話することで情報共有に努めます。また、定期的なカンファレンスを実施し共通理解が図れるようにしてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		ご相談があった場合には、迅速な対応が出来るように努めてまいります。また、子育てに関する相談に適切に応じることが出来るよう職員一同自己研鑽に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		今後もお子さまの気持ちを受け止めながら、自立を促す支援ができるよう努めてまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	1	0		現在は父母の会などの保護者会を設けておりません。今後ご要望に応じて保護者様同士の連携の場を検討してまいります。	

説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	0	1	0	1	苦情などの申し出があった際には内容確認後、速やかに改善策を検討したうえで申し入れ者に改善策を伝え苦情解決に努めております。今後も引き続き、保護者様には苦情受付体制の周知を図り、職員へは苦情の申し入れがあった際に迅速かつ適切な対応ができるよう、体制及び対応マニュアルの周知徹底に努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0	言葉のみではなくカードや写真を用いて視覚的に支援をしたり、ジェスチャーや見本を見せるなど、お子さまに合わせて「伝わる」工夫をしております。保護者様への情報伝達ツールも状況に合わせて配慮しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	0	一斉連絡システム(運営ソフト)により必要に応じて皆様に情報を伝えております。行事予定については運営ソフトと紙媒体でのお知らせを行っております。活動の概要についてはホームページやSNS、活動報告(お便り)などを通じて発信しております。また自己評価の結果につきましてはホームページに掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	個人情報に記載された書類については、鍵付き書庫で保管しております。書類の持ち出しに関しては、使用後は所定の位置に戻すことを徹底し、日頃より、情報の取り扱いについて注意喚起しております。また、個人情報保護の対策としてパソコンに覗き込み防止フィルターを設置しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1	0	0	各種マニュアルを策定しております。また、発生を想定した訓練や、知識・技術の習得及び再確認など定期的の実施しております。避難訓練においては、職員のみでの訓練、お子さまと職員の間合同訓練を実施しておりますが、利用状況により参加できるお子さまが限られておりましたので、すべてのお子さまが参加できるような体制や保護者様が参加できるように引き渡し訓練なども検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	1	0	1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	1	0	0	安全計画を策定し、虐待防止研修や防災訓練などを行っております。今後も安全計画に基づいた研修や訓練、その他の必要な措置を行い、安全管理に努めてまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	1	0	0	事故や怪我等が発生した際は保護者様への状況説明を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0	「利用者様や保護者の様を自分自身の家族と捉えて最善の療育を提供する」という理念の基に、全てのお子さまが時には周囲の助けを得ながらも自分の力で日常生活や社会生活を送れるようになるために、沢山の愛情を持って発達支援を行っております。今後も職員一人ひとりの支援の質を高め、お子さま一人ひとりに合わせた適切な支援の提供に努めてまいります。また、お子さまや保護者様からのご意見も積極的に取り入れながら安心して楽しく通所できる事業所作りにも努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	